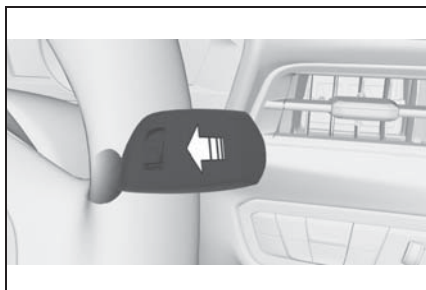


フロント ウィンドウを清掃する



レバーを引きます。

ウォッシャー液がフロント ウィンドウに吹き付けられ、ワイパーが短時間オンになります。

ウォッシャー ノズル

作動スタンバイをオンにすると、ウォッシャー ノズルが自動的に温められます。

ワイパー停止位置の切換え

原理

ワイパー停止位置ではワイパーをフロント ウィンドウから起こすことができます。

一般事項

ワイパー ブレードの交換や、または氷点下時にワイパーを起こす際に用います。

安全に関する注意事項

⚠ 警告

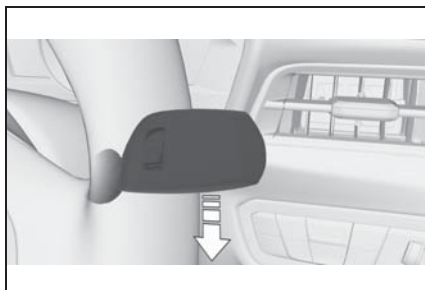
ワイパーを起こした状態で動かすと、身体の一部が挟まれたり、車両の一部が損傷するおそれや、けがを負ったり、損傷が発生するおそれがあります。ワイパーを起こすときにはイグニッションがオフになっていること、またイグニッションをオンにするときにはワイパーが折りたたまれていることを確認してください。

⚠ 注意

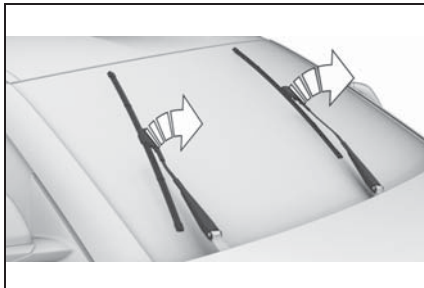
ワイパーが凍結している場合、ワイパーをオンにしたときにワイパー ブレードが裂けたり、ワイパー モーターが過熱したりするおそれや、損傷が発生するおそれがあります。ワイパーをオンにする前にウィンドウの霜取りをしてください。

ワイパーを起こす

- 1 作動スタンバイをオンにします。
- 2 ワイパーがほぼ垂直の位置で止まるまで、ワイパー レバーを下に押し続けます。



- 3 ワイパーを持ち上げて、フロントウィンドウから完全に離します。



ワイパーを倒す

ワイパーを倒した後、ワイパーシステムを再び作動させる必要があります。

- 1 ワイパーをフロントウィンドウに完全に倒します。
- 2 作動スタンバイをオンにして、ワイパーレバーを再び下に押し続けます。
- 3 ワイパーが停止位置に戻り、再び作動可能な状態になります。

オートマチックトランスミッション

原理

オートマチックトランスミッションでは、必要に応じて手動でシフトできる機能が統合されています。

安全に関する注意事項

警告

固定されていない車両は自然に動き出してしまうことがあります。事故の危険があります。車両を離れる前に、車両が動き出さないように固定します。例えばパーキングブレーキをかけます。

セレクターレバーポジション

D ドライブポジション

通常走行するときのセレクターレバーポジションです。前進走行用の全てのギアに自動的にシフトされます。

R リバース（後退）

必ず停車している状態で、セレクターレバーをポジションRにします。

N ニュートラル

セレクターレバーポジションNでは、例えば自動洗車機で車両を移動させたり、またはエンジンパワーなしで動かす（→117）ことができます。

P パーキング

例えば車両を停止するとき用のセレクターレバーポジションです。セレクターレバーポジションPでは、トランスミッションによって駆動輪がブロックされます。